

【運営方針】

＜平成 31 年度重点目標＞

- ・人材を定着させるため、職員一人ひとりの期待するところを伝え、それぞれの強みを活かした育成を行う。
- ・職員のモチベーション向上に力を入れる。

＜中期計画＞

- ・ナザレットの家とベトレヘム学園が地域の子育て支援の拠点となれるよう、ニーズを把握し、ショートステイなど新たな取り組みが出来ないか、ナザレットの家と連携しながら、検討していく。
- ・「育児指導機能強化事業」※を実施するために、職員を育成し環境を整える
- ・3棟目のグループホーム開設を目指す。

※ 乳児院等に育児指導担当職員を配置し、入所児童やその家族に加え、地域で子育て中の家庭等からの子育てに関する相談に応じることにより、子育てに関する不安を解消する等育児指導機能の充実を図る。

＜その他＞

- ・職員の福利厚生充実を、職員主体となって進めていく。
- ・ナザレットの家との連携は、コミュニケーションを密に取りながら進めていく。

【人員体制】

施設長（会計責任者） 鈴木 ますみ

職 種		定 数	平成 30 年度 3 月末見込 常勤換算数（実人員）	平成 31 年度配置計画 常勤換算数（実人員）
国 基 準	施設長	1	1(1)	1(1)
	副施設長	—	家庭支援専門相談員兼務	家庭支援専門相談員兼務
	事務員	1	3.2(4)	3.2(4)
	保育士・児童指導員	20	25.8(28)	28.6(31)
	個別対応職員	1	1(1)	1(1)
	家庭支援専門相談員	1+1(加算)	2(2)	2(2)
	栄養士	1	1(1)	1(1)
	調理員等（無資格指導員含）	4	3(3)	2(2)
加 算	里親支援専門相談員	1	1(1)	1(1)
	心理療法担当職員	1	1(1)	1(1)
	看護師	1	1(1)	1(1)
	嘱託医	1	1(精神科医と兼務)	1(精神科医と兼務)

	保育士・児童指導員地域 小規模児童養護施設	6	5(5)	6(6)
都 基 準	保育士・指導員 (専門ケア職員加算)	1	1(1)	1(1)
	治療指導担当職員	1	1.8(2)	1.8(2)
	小児精神科医	0.2	0.4(5)	0.4(5)
	自立支援コーディネーター	1	1(1)	1(1)
合 計		44.2	49.2(57)	52(60)

【利用実績等】

	平成 28 年度実績	平成 29 年度実績	平成 30 年度見込	平成 31 年度目標
定 員	56 人	57 人	57 人	57 人
実績等	55 人	55 人	54 人	55 人
利用率	98.2%	96.5%	94.7%	96.5%

【支援方針】

<重点目標>

- ・昨年度に続き、「子どもの希望を叶える」施設を目指す。
- ・「外部に出た時に恥ずかしくないような社会性を身につける」ために、職員も含めて、まずは挨拶に力を入れていく。

<中期計画>

- ・将来へのイメージが持てるように、年齢別にプログラムを作成し、進学や就労に対する意識を高める取り組みを行う。
- ・虐待等でケアニーズの非常に高い子どもたちの入所が増加しているため、施設の高機能化（具体的には4人の生活単位累計の新設）を目指す。そのために人材を確保育成し、環境を整える。

<その他>

- ・引き続き、家庭的な支援となるように、子どもの好みも取り入れて環境を整えていく。

【災害対策】

- ・BCP（事業継続計画）を完成させ、緊急時の連絡手段を検討する。
- ・ナザレットの家との防災訓練は、いろいろな想定で行う。
- ・夜間想定避難訓練と、炊き出し訓練を年一回行う。
- ・地域防災ということで、白梅自治会との合同防災訓練を行うとともに、備蓄・備品・避難場所を確保する。
- ・防犯教室や訓練を企画し、防犯意識を高める働きかけをして行く。

【地域との連携】

- ・白梅自治会との行事の共催を継続する。
- ・清瀬市内の社会福祉法人と連携した、地域支援ネットワークに参画する。
- ・地域に開かれた施設づくりのため、ベトレヘム学園を拠点とした音楽ダンスのワークショップを、ボランティア協力のもと実施する。
- ・学習ボランティアは学生の入れ替わりが考えられるので、引き続き近隣の社会事業大学を中心に募集していく。

【職員の質の向上】

- ・目標成果シートの内容を見直し、人材育成計画として位置づける。施設長面接も更に人材育成を意識して行う。
- ・外部研修は経験年数や職位別に、計画的に受講する。

【施設・設備整備】

(単位：千円)

工事等 件 名	備品購入等	
	件 名	金 額
	冷蔵庫(なでしこホーム)	130
	冷蔵庫(ふろじゃくホーム)	130
	テレビ(ふろじゃくホーム)	100
	防災食	150
	各ホーム用スマートフォン	100
	加湿器(事務所用)	100
	車	3,000

注：工事等は1件100万円以上、備品購入等は1件10万円以上を計上

【当年度の収支について】

- ・措置費の単価が改正になり、前年度より約13,800千円増える見込みである。
- ・職員を手厚くするため定数より多く採用しているため、人件費と法定福利費の増加が見込まれる。
- ・子どもの最善の利益のために、子どもの為に使う事業費を増やして行く(特に教養娯楽費、被服費等)。
- ・水道光熱費は、夏の酷暑等で年々増加が見込まれる。
- ・引っ越しの際に揃えきれなかった備品を、順次購入する。